

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	健康福祉部
	04006-1	救急医療対策費	室名	健康推進室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	02:地域医療の充実	務	款 衛生費
	施策の方向	01:地域医療体制の構築	科	項 保健衛生費
戦略プロジェクト		目	目 保健衛生総務費	

② 目的・概要	対象	市民、医療機関
	目的	市内の救急医療体制を確保し市民の暮らしの安心・安全を守るための、1次救急医療及び救急医療に関する啓発等に関する事業。

		24年度	25年度	26年度	
③ 指標	① 活動	名称 一次救急医療の実施	計画値		
		補足 1次救急を市内医療機関に委託し、夜間時間外応急診療及び休日当番医、年末年始当番医(歯科含む)として実施する。	実績値	実施	実施
	名称 二次救急医療の実施	計画値			
	補足 2次救急を医療センターに委託し実施する。	実績値	実施	実施	
① 成果	名称 1次及び2次救急医療体制の実施日数	計画値			
	補足 年間を通じて1次及び2次の救急医療体制を確保した日数。	実績値	365	365	
		単位	日	日	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					1次救急医療として、夜間時間外応急診療及び休日当番医、年末年始当番(歯科含む)を実施した。また、2次救急医療の医療センターへの委託については、病院事業繰出金と整理した。 また、救急医療に関する啓発活動として、救急医療週間にあわせ救急医療市民講座(9月9日)を開催した。 ()は平成26年度受診者数 ・夜間時間外:月~土(年末年始、祝日除く)19時30分~22時(314人) ・日曜祝日13時~19時30分(744人) ・年末年始(12/29~1/3)9時30分~16時30分(410人) ・年末年始歯科(12/30.31、1/2.3)9時~11時(14人)			
		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	962	平均給与額×③	
	事業費		17,519	14,637	一般職員人件費 ②	962		
	国庫支出金				所要人員 ③	0.13		
	県支出金				臨時職員人件費 ④			
	地方債				受益者負担額 ⑤			
	その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	一般財源		17,519	14,637				
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	962				
	総コスト		⑥	15,599				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	1次救急を年間を通じて委託実施することにより、市民の暮らしの「安心・安全」につなげた。また、消防救急室と連携し、救急車の適正利用や時間内受診を広報かめやま街頭啓発で呼びかけ、医療機関の負担軽減につながる取り組みを行い、市内の医療機関と連携を図りつつ救急医療体制を確保した。	総合判定
			A 順調に進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	市内の1次救急で対応が困難な小児の1次救急について、鈴鹿市の応急診療所を市民が利用するケースがあるが、鈴鹿市から亀山市民が受診する際に電話での事前確認が無く、専門医不在の際などで対応に苦慮する場合があるとの報告を受けている。
	【改善の方向性】	小児の1次救急の問い合わせに対しては救急医療情報センターの利用を案内しているが、本人が鈴鹿応急診療所での受診を希望する場合には、事前確認の注意喚起を徹底する。また、救急車の適正利用や救急医療に関する啓発活動を消防救急室と連携を図りながら継続的に行う。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 健康推進室長 駒谷 みどり
--------------	---------	------------------------